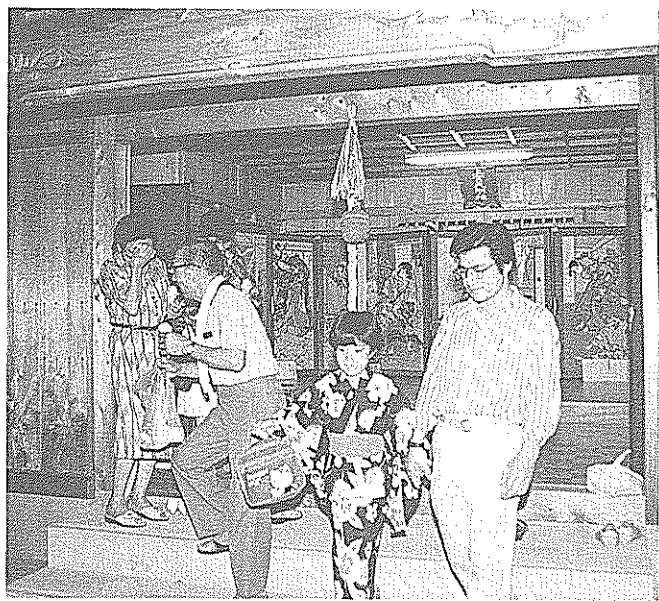


片山の絵金

片山公民館（松木猪輔館長）に保管されている十三枚の絵金のびょうぶ絵。これが、片山の天満宮の宵祭りの日に公開されていることは意外と知られていないのでは。

百一、三十年前から伝わるもので、寄付金など百四十万円をかけて修復。八年前から宵祭りの日に片山公民館で公開していたのを、神社の改築を機に今年から天満宮で行うことになったもの。

七月二十日、夜店などでにぎわう境内に、あざやかな原色の芝居絵が展示され、親子連れの参拝客や絵金ファンを楽しませました。



少年非行防止

パレード

夏休みを間近にした七月二十二日、青少年育成南国市民会議（川田光城会長）の呼び掛けで少年非行防止パレードが行われました。

更正保護婦人会、補助員、子供会などから四十人あまりが市内をパレード。明るい家庭づくりや思いやりのある地域づくりを訴えました。



築こう

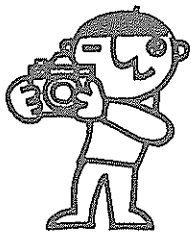
明るい社会

七月十八日、市役所で「社会を明るくする運動」が繰り広げられました。

南国市社明実施委員会が主催するこの運動も今年で四十一回目。ふれあいと対話が築く明るい社会をテーマに社明菓子の販売や青少年・婦人問題相談などを行いました。



カメラ レポート

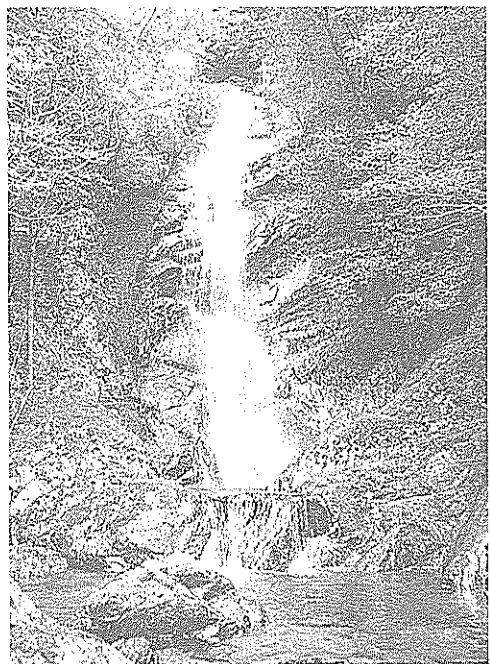
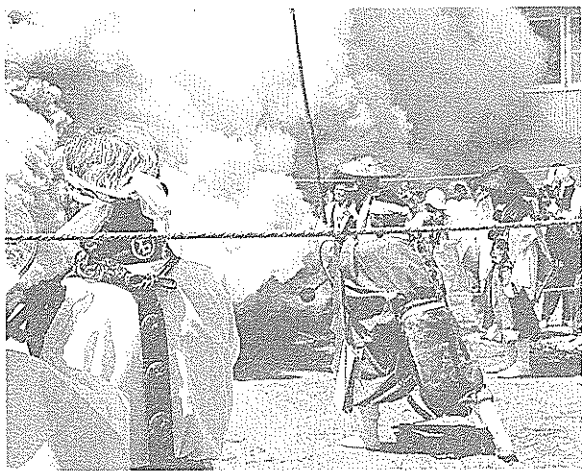


火祭り

七月六日、十市の石土神社で護摩をたく火祭りが行われました。毎年、石土神社奉斎会（細川春一会長）が行っており、県下では最大の火祭り。

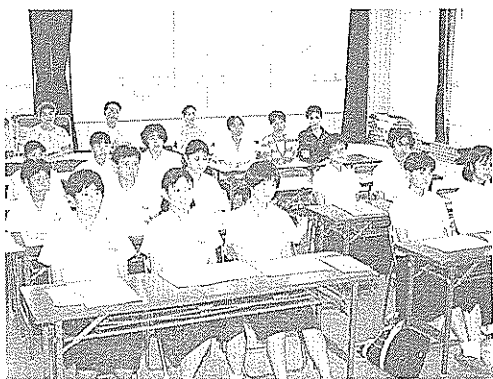
修験者による儀式が繰り広げられるなか、交通安全、家内安全などを祈った約一万本の護摩木が火に投せられると、火祭りもクライマックス。

また赤々とおき火の残る灰の上を、修験者たちが火渡り。続いて信者たちがそれぞれ願いを込めて次々と渡りました。仏教諸宗派、神道が一緒に行う火祭りは、全国的にも極めてまれなこと。



夏なお冷涼

知っていますか、市内にこんな滝のあること。この滝は黒滝にある釜滝。夏でもあたりは涼しいばいです。



心は大韓民国へ

平成三年度生涯スポーツ国際交流事業として八月八日から十二日まで隣国大韓民国を訪問する南国市女子中学生バレーボール交流団の結団式が、七月十三日、大篠地区公民館で行われました。

交流団は矢野仁香長中学校長を団長に市内の中学校から選抜された十五人の選手ら総勢二十五人。

大韓民国との交流は一昨年、昨年のサッカー交流に続くもので、今回は女の子が交流を深めてきます。

満開！石土池のハス

咲きそろったハスの花であたり一面淡いピンク色。十市の石土池のハスが見事な花を咲かせています。夏の暑い日さしの中、ここだけは暑ささえ忘れさせてくれるような神秘的な雰囲気包まれています。

